

## 令和3年度 産業建設部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
産業建設部長 難波 利光	<p><b>●使命</b></p> <p>私たち産業建設部は、安全・安心に生活できる住環境の整備を積極的に進めます。さらに、インフラ施設の充実・長寿命化を図ることで、災害に強いまちづくりを目指します。</p> <p>また、農業や漁業に魅力を感じ、事業を持続的に取り組む事ができる基盤作りを進め、地域が元気に活力を得ながら発展できるよう、企業誘致や中小企業振興等にも力を入れ、地域産業の活性化を進めます。</p> <p><b>●基本方針</b></p> <p>①国土強靱化地域計画を基に、建設課で行う事業だけでなく、他部署のハード事業も分任事業として積極的に受け入れることで、市内の住環境整備を促進します。</p> <p>②各種長寿命化計画に基づき、河川、生活道路、市営住宅等のインフラ施設を計画的に整備していきます。</p> <p>③JR3駅の駅前等整備事業を積極的に促進します。</p> <p>④農地の適正な維持と資源の質的向上が図られるよう、農道や用水路等農業用施設の持続的な維持管理が行える事業の促進に努めます。</p> <p>⑤担い手の育成や耕作放棄地対策等の事業に取り組み、農林水産業の活性化を後押しします。</p> <p>⑥シカ、イノシシ等の有害鳥獣による農作物への被害を抑制するため、対策事業を積極的に推進します。</p> <p>⑦地域産業の担い手である市内の小規模事業者や中小企業者のための振興対策を積極的に推進します。</p> <p>⑧投資による雇用・税収を確保するため、企業誘致を推進します。</p>	所管課	建設課・産業振興課		
		人 員	正職員	会計年度 任用職員	合計
		27人	7人	34人	
一般会計		2,737,236 千円			
特別会計		144,999 千円			
計		2,885,235 千円			
(うち人件費)		(168,176 千円)			

重点項目		内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	国土強靱化地域計画に基づくハード整備の実施	大雨、台風等による河川氾濫、高潮対策等へ備えます。	高潮対策については仮設ポンプを設置し内水排除を行います。	7月に仮設ポンプを設置しました。	10月末に仮設ポンプを撤去しました。設置期間中では台風9号接近時に使用しました。	10月末に仮設ポンプを撤去しました。
		市道開田線の整備を推進します。	市道開田線の地元説明会、用地買収を進めます。	地権者への地元説明会を実施し、用地測量を行っています。	用地測量が完了し、地権者と用地買収交渉を行っています。	用地補償契約が7件中6件完了。1件交渉中で4月以降に契約見込み。
		専門的な知識や経験を活かし、分任事業を推進します。	担当課と連携し、工程管理、予算管理を行い、事業の早期完成を目指します。	担当課と連携を図り、予定通り進行しています。	担当課と連携を図り、予定通り進行しています。	分任設計18件完了。分任工事6件完了、2件繰越。
2	長寿命化計画に基づく、生活道路等の整備	市道橋梁の5年に1回の法定点検が2巡目となり、市職員及び専門業者による橋梁点検を実施し健全度の診断を行い、予防保全の観点から早期補修を行うなど、適正な管理を進めます。	市道の橋梁 580 橋のうち、今年度は 125 橋の法定点検を実施します。生活道路改良工事では舗装修繕を含め、30 路線を実施します。	125橋の橋梁点検を発注済み。 26路線の工事を発注済み。	125橋について橋梁点検済み。 32路線の工事発注を行い、23路線の工事完了。	125橋について橋梁点検済み。 36路線の工事発注を行い、31路線の工事完了。5路線繰越。
		地域の活動や市民の生活に最も密着する生活道路の維持補修や改修整備など促進し、安心安全な地域づくりを推進していきます。また、まちづくりに必要な道路の整備を進めます。	生活道路維持補修等では、要望書に基づいた迅速な対応と、要望に対する実施率70%以上を目指します。	要望件数392件に対し189件対応し実施率48%。	要望件数574件に対し307件対応し実施率53%。	要望件数729件に対し400件対応し実施率55%。
		市営住宅長寿命化計画を基に、計画的な修繕や建替事業の検討を進めます。	令和4年度以降に実施する維持更新事業、建替事業の工程、財源確保を具体化します。	中期財政計画にて、新規事業の説明を行い、工事実施時期の見直しを実施中。	令和4年度に基本設計を実施する予定。工事完成時期は令和7年度以降の予定。	令和4年度に基本設計を実施する予定。工事完成時期は令和7年度以降の予定。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
3 J R 駅前等整備事業の推進	市内に3駅あるJ R 駅前等整備計画の短期計画の早期実現に向けて、関係者との調整を図り、安全な工事を進めます。	駅利用者等の安全に配慮した施工計画にて、大富駅、長船駅は令和4年度完成、邑久駅は令和6年度完成を目指し工事の進捗を図ります。	各駅とも早期完成を目指し、繰越明許費、補正予算を計上し、早期工事発注を行います。	各駅とも安全性を考慮した施工手順で、順次工事発注を実施中。	大富駅工事 1 件完了、1 件繰越。進捗率 35% 邑久駅工事 2 件繰越。進捗率 30% 長船駅工事 4 件完了、2 件繰越。進捗率 40%
4 農業用施設の適切な維持管理	<p>農地の維持や農地・水路・農道等の維持補修や改修整備など促進し、安心安全な地域づくりを進めます。</p> <p>農業用ため池の防災・減災対策として、5年に1回ため池点検を実施し健全性の診断を行い、予防保全の観点から早期補修・廃止を行うなど、適正な管理を進めます。</p> <p>防災重点農業用ため池のハード対策は県が主体的となり実施し、市は地元調整に協力します。ソフト対策は市が主体的に進めます。</p>	<p>農業用施設維持補修等では、要望書に基づいた迅速な対応と、要望に対する実施率 70%以上を目指します。</p> <p>農業用ため池633池のうち、今年度は50池のため池点検を実施します。</p> <p>ソフト施策として、ため池ハザードマップの整備を20池実施します。</p>	<p>要望件数 147 件に対し 85 件対応し実施率 58%。</p> <p>20池のため池点検を発注済み。30池は直営点検を予定。</p> <p>31池のハザードマップ整備の委託発注済み。</p>	<p>要望件数 220 件に対し 138 件対応し実施率 63%。</p> <p>20池の委託業務を実施中。直営点検は16池が完了。</p> <p>31池のハザードマップを地元と調整しながら作成中。</p>	<p>要望件数 244 件に対し 152 件対応し実施率 62%。</p> <p>委託業務にて20池の点検が完了。直営点検は32池が完了。</p> <p>31 池のハザードマップが完成。</p>

重点項目		内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
5	農林水産業の活性化	耕作放棄地の復旧及び耕作放棄地防止対策を推進します。	瀬戸内市耕作放棄地解消等事業を活用しながら、耕作放棄地を4ha解消します。	瀬戸内市耕作放棄地解消等事業(一次公募)において、1.5haを採択。	瀬戸内市耕作放棄地解消等事業(一次公募)において、4.3haを解消しました。	瀬戸内市耕作放棄地解消等事業において、4.3haを解消しました。
		人・農地プランの実質化を行い、担い手への農地集積を推進します。	年度内に、市内3地区(邑久、長船、牛窓)において、人・農地プランの実質化を図ります。	昨年度実施したアンケート結果を基に、農地の現状を示した地図を作成。	アンケート、現状地図を基に、プランの検討を実施。3月末までに全地区で実質化予定。	全地区で実質化し、担い手への農地集積を推進しました。
		適切な森林経営管理を推進します。	森林環境譲与税を活用し、市内の人工林について、経営管理および防災面から現況調査を行います。 65ha、112区画	森林現況調査を開始、1月末までに完了予定。 65ha、112区画	1月21日に委託業務完了。市内全域の対象地区における現況調査が完了。調査データから今後の意向調査の準備を行う予定。	令和2年度に287区画、令和3年度に112区画の森林現況調査を行い、市内全域の現況調査が完了した。
6	有害鳥獣被害対策の推進	有害鳥獣による農作物への被害を抑制するため、対策事業を積極的に推進します。	総合的な被害対策(自己防衛及び・環境管理・捕獲)事業を推進します 個別柵 200件 集落柵 5件 駆除捕獲頭数 700頭	■防護柵設置 ※交付決定件数 個別柵 85件 集落柵 5件 ■駆除捕獲頭数 イノシシ 433頭 シカ 73頭 合計 506頭	■防護柵設置 ※交付決定件数 個別柵 104件 集落柵 6件 ■駆除捕獲数 ※猟期中の錦海駆除含む イノシシ 553頭 シカ 160頭 合計 713頭	■防護柵設置 ※交付決定件数 個別柵 98件 集落柵 6件 (個別柵11件中止) ■駆除捕獲数 ※猟期中の錦海駆除含む イノシシ 562頭 シカ 173頭 合計 735頭
			集落ぐるみで行う被害防止対策の推進します 鳥獣被害に強い集落づくり支援事業 5地区 広報掲載 2回 啓発動画作成 1件 パンフレット作成 1件 セミナー参加者 150名 小規模集落セミナー 5地区	広報掲載 1回	■鳥獣被害に強い集落づくり支援事業 2地区 広報掲載 1回 啓発動画 作成中	■鳥獣被害に強い集落づくり支援事業 2地区 広報掲載 1回 啓発動画 作成済

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
7 地域産業の振興対策の推進	<p>地域産業の担い手である市内小規模事業者、中小企業者の振興対策を推進し、併せて創業者の支援を推進します。また、市内で新たに事業所を開設する事業者や再投資を行う既存事業者を支援し、地域産業の振興と雇用の増大を図ります。</p>	<p>創業支援事業計画に基づき、瀬戸内市商工会、岡山県産業振興財団、金融機関との連携による創業支援件数149件及び創業件数18件（各連携機関合計数値）</p> <p>利子補給制度等の適正な執行による中小企業の支援を行います。</p> <p>新型コロナウイルス感染症による影響を受ける小規模企業者等に対して、緊急経済支援策等の情報提供を行い事業継続を支援します。</p> <p>今年度より実施する再投資促進補助金と企業立地促進補助金の周知を幅広く実施し、事業者の投資を支援します。</p>	<p>11月から創業塾を開催する予定で準備を進めています。例年を上回る21人から受講申込がありました。</p> <p>中小企業活性化資金利子補給について、新たに2事業者を認定しました。また、上半期の利子補給を33件実施しました。</p> <p>事業継続応援補助金については、88事業者に交付決定しました。7月に感染防止対策推進助成金の制度を創設し、66事業者に交付決定しました。</p> <p>市ホームページに概要を掲載し周知を行っています。現時点で、3事業者から補助金制度活用の相談を受けています。</p>	<p>11月から12月にかけて開催した創業塾では、18人が受講修了されました。</p> <p>中小企業活性化資金利子補給の適格認定を4事業者に対して行いました。</p> <p>小規模事業者経営改善資金の利子補給を23件実施しました。</p> <p>事業継続応援補助金については、106事業者に交付決定しました。</p> <p>感染防止対策推進助成金については、369事業者に交付決定しました。</p> <p>企業立地促進補助金について、1事業者から事業認定の申請があり、当該事業を認定しました。</p>	<p>実際に創業された8名に創業奨励金を交付しました。</p> <p>中小企業活性化資金利子補給の適格認定件数は、年間6件でした。また、下半期の利子補給を27件実施しました。</p> <p>事業継続応援補助金を108事業者に交付しました。</p> <p>感染防止対策推進助成金を369事業者に交付しました。</p> <p>企業立地促進補助金の事業認定件数は年間1件でした。再投資促進補助金の認定申請は、ありませんでした。</p>

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
8	第2宮下産業団地の推進	第2宮下産業団地の整備を着実に実施するため、企業や地元との調整を進め、各種手続きを遅滞なく行う。	企業のニーズに合った開発計画を策定し、年内に開発申請及び農地転用申請を行います。	第2宮下産業団地への進出を希望する企業から立地意向表明書の提出があったことを受けて、立地意向表明式を行いました。測量、地質調査業務は完了しました。現在、開発申請に向けた宅地造成の設計を進出企業と調整しながら進めています。	11月に地元自治会への説明会を開催し、事業の進捗状況及び今後のスケジュールについて説明を行いました。12月に都市計画法に基づく開発許可申請、農地法に基づく農地転用申請をそれぞれの許可権者へ提出しました。	3月末日までに都市計画法に基づく開発許可、農地法に基づく農地転用許可を得ました。